

査読付き雑誌への投稿者向けセミナーの実施について



**査読付き学術雑誌の
掲載を勝ち取る**

加登豊 名古屋商科大学大学院教授 神戸大学名誉教授
松尾貴巳 神戸大学大学院経営学研究科教授
安酸建二 近畿大学経営学部教授
岡田幸彦 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授
船越多枝 大阪経済大学経営学部准教授
喜田昌樹 滋賀大学経済学部 教授

日本管理会計学会関西・中部部会（主催校：南山大学）の開催当日（2024年5月25日（土））午前中に、「査読付き学術雑誌の掲載を勝ち取る」というテーマで、査読付き学術雑誌への投稿に関するセミナーを実施することになりました。日本管理会計学会会員・関係者の方々のみならず、その他の皆様も参加いただけます。参加を希望される方は、下記の QR コードにアクセスし、Google Forms の申込書に必要事項を記入してください。

（申し込み QR コード）



日時：2024年5月25日（土）09:30－12:00

開催場所：南山大学 S 棟（S47）

<https://www.nanzan-u.ac.jp/CMAP/nagoya/campus-nago.html>

対象者：日本管理会計学会会員・関係者および非会員の学部学生、大学院院生等（非会員で参加を希望される方は、加登豊（yutaka_kato@nucba.ac.jp）まで参加可能かどうかの問い合わせをお願いします）

講師：加登豊・松尾貴巳・安酸建二・岡田幸彦・船越多枝・喜田昌樹

セミナー参加料：無料

(参加者には、70 ページを超えるスライド資料が配布されます)

(査読セミナー開催趣旨)

研究者を目指す大学院生 (OD を含む) 査読付き論文を数多く持つことが、就職には不可欠です。また若手・中堅の研究者も、昇格や移籍だけでなく科学研究費補助金を含む競争的研究資金の獲得のために、自身の研究論を査読付き学術雑誌に掲載することが必要です。また、MBA 取得を目指している社会人大学院生や修了生の皆さんも、自らが取り組んだ研究成果を学術論文として完成させることに関心を有しておられると思います。

このセミナーでは、みなさんの論文を広く多くの方々目に触れる形で公表することの意義、公表の手順、査読制度に対する理解、査読コメントへの対応法などについて平易に説明します。奮ってご参加ください。講師はいずれも、数多くの投稿と論文掲載経験を有するほか、国内外の研究雑誌の編集委員長・委員や査読者として活躍している方々です。セミナーの概要は以下に示すとおりです。

セミナーの概要

- セミナー開催目的
- 論文公表 (掲載) のメリット
- 査読制度 (レフリー制) とは何か
- 査読制度の歴史
- 査読プロセスを理解する (投稿→査読レポート受取→レポート対応と論文修正→再度投稿→受理・不受理が決定するまでこのプロセスが繰り返される)
- 「査読ゲーム」のプレーヤーたち: 投稿者、査読者 (レフリー)、雑誌編集委員
- 投稿前の準備と心構え
- 投稿先雑誌の決定と決定にあたって考慮すること
- 査読コメントへの対応方法
- (特に) 社会人大学院生 (修了生) へのアドバイス
 - 投稿ルールに精通する
 - デスクリジェクト (即時不受理を回避する)
 - MBA 論文と研究論文の異同を正しく理解する
 - 投稿先雑誌の特徴を理解する (管理会計領域の 5 雑誌)
 - 『原価計算研究』
 - 『経営会計レビュー』
 - 『メルコ管理会計研究』
 - 『管理会計学』
 - 『会計プロGRESS』
- 質疑応答

なお、ご参考までに、当日午後の学会部会スケジュールは下記のとおりです。

「日本管理会計学会2024年度第1回関西・中部部会スケジュール」

部会進行の説明 13：30～13：35

開催の辞 13：35～13：40

関西・中部部会長 徳崎 進 氏（関西学院大学大学院経営戦略研究科 教授）

第1部〔特別講演〕 13：45～15：00（講演60分、質疑応答15分）

司会 小沢 浩 氏（名古屋大学大学院経済学研究科 教授）

講演者 丹羽哲也 氏（大同特殊鋼株式会社執行役員 E S G 推進統括部長）

講演テーマ 環境価値と管理会計－鉄鋼業を題材として－

第2部〔研究報告〕 15：10～17：05 司会 近藤隆史（京都産業大学経営学部 教授）

第1報告 15：10～15：45（報告25分、質疑応答10分）

報告者 今井範行 氏（名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授）

論題 レベニュー・マネジメントのフロント・ローディング

－キーエンスとトヨタにみる戦略的レベニュー・マネジメント－

第2報告 15：50～16：25（報告25分、質疑応答10分）

報告者 野瀬康晃 氏（名古屋大学大学院経済学研究科 大学院生）

論題 製造現場における生産の柔軟性の評価指標と評価の事例

第3報告 16：30～17：05（報告25分、質疑応答10分）

報告者 平山睦喜 氏（広島大学大学院人間社会科学研究科 大学院生）

論題 企業内部からのガバナンスとパフォーマンスの関係について

－長期的視点としての投資行動に着目して－

閉会の辞 17：05～17：10

準備委員長 窪田祐一（南山大学経営学部 教授）

お問い合わせおよび申し込みは、加登豊（yutaka_kato@nucba.ac.jp）までお願いします。

なお、本セミナーは、「管理会計研究における査読制度の高度化を図る諸方策に関する総合的研究」（研究代表者：加登豊、一般財団法人牧誠財団 2023 年度第一次研究助成 A（I））の一環として実施するものである。